

農業土木部門 札幌支店からの報告



札幌支店

これからの農業土木は、事業の性質上地元負担がともなうことから、より低インシャルコスト、低ライフサイクルコストを重視した設計計画が求められてきます。弊社では、既存施設の機能診断にあわせて、補修・補強あるいは施設管理計画の提供など社会資本のストックマネジメントを中心とした、施設の長寿命化を図る対策を積極的に取り込みたいと考えています。また、併せて地域受益者と深くかかわる圃場整備計画では、低コストの実現と受益者の要望に応えるため、指針のみにとらわれず、経験と実績をふまえた弾力的整備計画を提案し、地域住民から信頼される会社として社会に技術貢献をする所存です。

圃場整備設計の主な実績

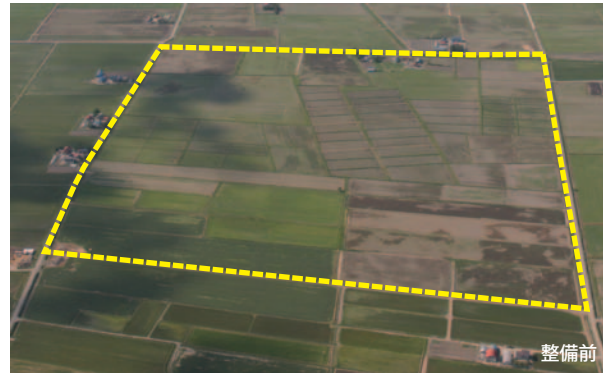
平成16年度
国営農地再編整備事業「由仁地区」 由仁町
 道営経営体育成基盤整備事業「多寄東地区」 士別市

平成17年度
 国営農地再編整備事業「由仁地区」 由仁町
 道営経営体育成基盤整備事業「東豊地区」 士別市

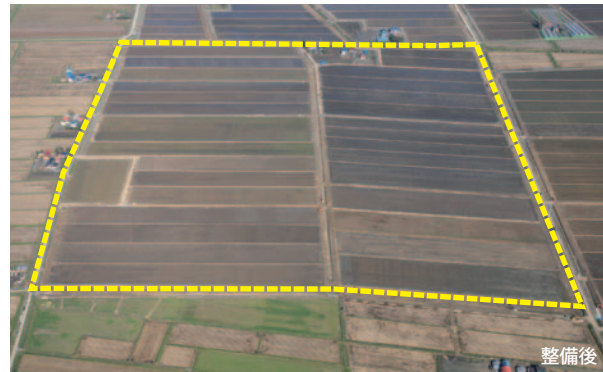
平成18年度
 道営経営体育成基盤整備事業「西川中地区」 岩見沢市

平成16年度実施 国営農地再編整備事業 「由仁地区」の紹介

事業概要 区画整理 …………… A=200ha
 用水路 …………… 5.2km
 排水路 …………… 3.9km



整備前



整備後

※写真提供：札幌開発建設部札幌南農業事務所



子供たちの植樹



暗渠



環境に配慮した施設



排水路



由仁土地改良区 由仁町土地改良総合センター (由仁町・水土里ネット由仁・JA由仁町)

この国営農地再編整備事業では、約1000haの水田で『農地の拡大・集約と、道路、用・排水の更新整備』が予定されており、昨年からの工事着工により、現在では約200haの農地が供用され、天候にも恵まれましたが、事業の効果により、豊作が見込まれます。

由仁土地改良区では、この事業の指標である『営農集団化、自然と調和した田園造り』と、これからの課題も山積みですが、地域の先導的モデル地区としての役割を果たすとともに地域農業の支援組織として、経営の強化に努めていきます。

現在道産米は、日本の食生活において年々消費量が増加し、北海道のブランド米として定着してきています。由仁地域としても独自のブランド米を目指し、由仁を代表する特産物として定着することを願っています。

また、改良区では由仁町の子供たちを集め、持ち運びのできる水田を使用して『米作り』を指導しています。『米の大切さ・農業の大切さ』を教えることで、将来子供たちが、日本の食料基地として、また、自然環境の源として『北海道の農業のすばらしさ』を伝え、手助けしてくれることを望んでいます。



持ち運びのできる水田

地元の声

真保さん(上岩内東工区)



これまで北海道の農家は厳しい社会情勢の中、様々なことに取り組み農業経営の改善に努めてきました。今回の農地再編整備事業は、まさにこれを後押しする事業として皆が期待しているところです。この基盤整備は、地域農業の近代化を目指す事業と位置づけており、これからの営農体系を大幅に改変するきっかけとして、『収量増加・労力低減』を目的に、より安定した農業経営の実現と『高品質で安全な食料の提供』を目指し努力しています。

由仁米の紹介



北の山脈から運ばれる豊かな資源の源「夕張川の水」が豊富に使われています。